

公開講座のご案内

平成30年度

大正大学

オープンカレッジ

ごあいさつ

大正大学は、仏教精神の建学理念に基づき「こころ」を育む講座を中心とし、昭和43年に巣鴨キャンパスにおいて公開講座をスタートさせてから50年になります。

また本学では、大きな四つの教育ビジョン(慈悲・自灯明・中道・共生)を掲げ、人間形成・教育活動に取り組んでおります。現役学生の皆さんだけでなく、あらゆる人への開かれた「知識提供の場」を目指して、仏教のみならず、文化・教養、歴史、人間探究、芸術などさまざまな講座を開講してまいりました。本学オープンカレッジは、皆さんの趣味・関心にあわせ、さまざまな講座を大いに利用していただけるよう、今後も講座の充実をはかってまいります。皆さんの学習のお役に立てるよう、精一杯お手伝いをさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

大正大学オープンカレッジ

CONTENTS (目次)

大正大学オープンカレッジ

■ オープンカレッジ

オープンカレッジの講座案内 3

A. 仏教講座 4

B. 芸術・文化講座12

■ 書道カレッジ

ごあいさつ21

書道カレッジの講座案内22

A. 基礎コース23

B. 専攻コース28

C. スペシャルコース32

■ 講座申込方法のご案内36

■ 個人情報の取扱いについて38

大正大学オープンカレッジの講座案内

2018年度の大正大学オープンカレッジでは、本学教員をはじめ各専門分野の講師の方々による、仏教、芸術、文化などの様々な講座をご用意いたしました。どなたでも受講することができ、また受講生の趣味や関心、学習目的に応じて学ぶことができます。初めて受講される方も継続受講生も一緒に、楽しく学べるよう講座の充実を心がけ企画いたしました。ご知友をお誘い合わせのうえ、本学オープンカレッジ「日本の伝統文化のこころ」を育む講座を、ぜひご利用いただければ幸いです。

■ 講座群のご紹介

A. 大正大学ならではの仏教講座群

天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗の四宗派を擁する本学ならではの大きな特長でもある充実の仏教講座。一般の方にもわかりやすく、やさしく学べるよう幅広い講座をご用意いたしました。懐深き仏教の世界と歴史、その思想に触れてみてください。

B. 伝統の芸術・文化講座群

優美な仏教美術である仏画、厳かな仏像彫刻など人気の講座を今年も開講いたします。芸術に触れる豊かな時間を過ごし、作品作りの楽しさに触れてみてください。

A. 仏教講座

- A1 一大正大学学長に聴く―空海と『金剛頂経』～即身成仏とは何か～大塚 伸 夫
- A2 読み解き『観音経』～観音様の慈愛のみなもとを探る～塩 入 法 道
- A3 仏画を読み解く～仏教絵画のメッセージ～野 口 圭 也
- A4 日本仏教の歴史④～古代から中世へ～林 田 康 順
- A5 仏教の梵語写本研究米 澤 嘉 康
- A6 空海と本覚思想～空海 of 思想を探る～本 多 隆 仁
- A7 民俗学の世界塩 入 亮 乗
- A8 臨床仏教入門③吉 水 岳 彦

B. 芸術・文化講座

- B1 仏さまを描く～写仏から色彩まで～腰 塚 勝 也
- B2 あなたにも楽しめる仏像彫刻①～自分のほとけさまに会える～榎 本 宣 道
- B3 あなたにも楽しめる仏像彫刻②～自分のほとけさまに会える～榎 本 宣 道
- B4 はじめての仏像彫刻入門① 5～7月～掌に乗るお地蔵さまを彫ってみよう～浅 葉 哲 休
- B5 はじめての仏像彫刻入門② 9～11月～掌に乗るほとけさまを彫ってみよう～浅 葉 哲 休
- B6 はじめての仏像彫刻入門③ 12～2月～掌に乗るほとけさまを彫ってみよう～浅 葉 哲 休
- B7 仏教を体験しよう～法話と写経の会Ⅲ～B S R推進室

■ 講座

—大正大学学長に聴く—

空海と『金剛頂経』 ～即身成仏とは何か～



■ 講師

大塚 伸夫

[大正大学 学長]

■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝3 限（13：10～14：40）

定員数＝80 名 受講料＝2,000 円

■ 講座紹介

空海は『大日経』と『金剛頂経』を依り所として真言宗を開宗いたしました。前回は『大日経』を取り上げましたので、今回は『金剛頂経』を取り上げたいと存じます。

『金剛頂経』の一節を読みますと、歴史上の釈尊による成道解釈をどのように施しているのかご理解いただけるものと思います。そこにこそ空海の即身成仏思想のヒントがあると言っても過言ではありません。密教の秘密に少しふれてみたいと思います。

■ 講義内容（全1回）

空海と『金剛頂経』～即身成仏とは何か～……………6月14日

■ 教材

資料は講座当日に配付いたします。



■ 講座

読み解き『観音経』 ～観音様の慈愛のみなもとを探る～

■ 講師

塩入法道

[大正大学学長補佐・大正大学仏教学部教授・信濃国分寺住職]



■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

「観音経」は「法華経」第 25 品（観世音菩薩普門品）が独立した形で普及した経典であり、日本で最も読まれている経典の一つ。内容が明快で、観音菩薩による救済が率直に述べられていること、読誦する時の語感やリズムが良いことでも人気のある経典です。

本講座では、まず「観音経」以外に観音菩薩のことを説くいくつかの経典を紹介し、観音はどのような菩薩であるかをお話した上で、「観音経」を詳しく読んでいきたいと思います。なお、重要な部分については、昔の学僧がどのように理解したか、このようなこともあわせて講義をしたいと考えております。主に講義形式の講座です。

■ 講義内容（全5回）

- 第 1 回 ●はじめに
 - 諸経典における観音の姿……………5 月 24 日
- 第 2 回 ●「法華経」と「観音経」の構成
 - 観音の名義について……………5 月 31 日
- 第 3 回 ●一心称名の意味
 - 七難、三毒、二求について……………6 月 7 日
- 第 4 回 ●観音の応現
 - 三十三身十九説法について……………6 月 21 日
- 第 5 回 ●偈文の解釈
 - 振り返りとまとめ……………6 月 28 日

■ 教材

資料は適宜配布します。



■ 講座

仏画を読み解く ～仏教絵画のメッセージ～

■ 講師

野口 圭也

[大正大学仏教学部教授]



■ 概要

曜 日＝月曜日 時 間＝3 限（13：10～14：40）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

仏教の教えは、経典などの文献ばかりではなく、美術を通じて形によっても伝えられてきました。仏像と並んで重要な仏教美術が仏教絵画です。ほとけの姿そのものばかりではなく、仏教史の様々な場面や重要な教えが絵画によって表現されています。

この講座では、日本を代表する仏教絵画を題材として、そこに何が描かれているのかを読み取り、絵に込められたメッセージを解説してゆきたいと考えています。

■ 講義内容（全5回）

第1回 涅槃を描く－『応徳涅槃図』と『金棺釈迦出現図』……………5月14日

第2回 二つの孔雀明王像－東京国立博物館本と仁和寺本……………5月28日

第3回 慈悲のすがた－観音菩薩の表現……………6月11日

第4回 六道輪廻の様相－聖衆来迎寺本『六道絵』の世界……………6月25日

第5回 地獄と極楽－経典と絵画の間……………7月 9日

■ 教材

資料は毎回配布します。



腰塚勝也先生作：孔雀明王

■ 講座

日本仏教の歴史④ ～古代から中世へ～

■ 講師

林田 康順

[大正大学仏教学部教授]



■ 概要

曜 日＝火曜日 時 間＝4 限（14：50～16：20）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

インドから中国、日本、さらにはチベットや東南アジアへと展開し、さまざまな思想や文化と融合しながら発展してきた仏教。そこには私達を幸せに導く智慧が豊かに息づいています。本講座では、およそ 1500 年前にわが国に伝来した仏教を日本人はいかに受容し、人々の心の内に根付いていくこととなったのかについて、古代から中世にかけての名僧達を中心に学んでいきたいと思います。

■ 講義内容（全5回）

- 第1回 末法と浄土教…………… 10 月 9 日
- 第2回 神仏習合と仏教文化…………… 11 月 20 日
- 第3回 中世仏教の特徴…………… 12 月 11 日
- 第4回 法然…………… 1 月 15 日
- 第5回 親鸞…………… 2 月 26 日

■ 受講生のみなさまへ

みなさん、こんにちは。林田康順と申します。
この講座では、日本仏教の歴史について、初心者向けに、やさしく丁寧に学んでいきたいと思っています。ご一緒に仏さまの智慧と慈悲を感じて参りましょう。

■ 教材

資料は適宜配布します。



■ 講座

仏教の梵語写本研究

■ 講師

米澤 嘉康

[大正大学准教授]



■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

本講座では、インド仏教の第1次資料である梵語（サンスクリット語）写本、ならびに、その研究状況についてご紹介していきます。とくに、大正大学における研究の歴史や近況について、詳しく説明する予定です。

■ 講義内容（全5回）

- 第1回 梵語写本とは？……………12月 7日
- 第2回 近年、報告されている事例……………12月14日
- 第3回 大正大学における梵語写本研究（1）…… 1月11日
- 第4回 大正大学における梵語写本研究（2）…… 1月25日
- 第5回 今後の梵語写本研究…………… 2月 8日

■ 教材

資料は適宜配布します。



■ 講座

空海と本覚思想 ～空海の思想を探る～

■ 講師

本多隆仁

[元大正大学教授・真言宗智山派薬王寺住職]



■ 概要

曜 日＝火曜日 時 間＝4 限（14：50～16：20）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

弘法大師空海の思想は広大で深遠です。本講座では空海の思想を本覚思想から解き明かしていきます。本覚思想は中国仏教、日本仏教に強く影響を及ぼした思想です。如来蔵思想から展開した思想でもあります。如来蔵とはすべての生きとし生けるものが悟りの本質となるものを内に具備しているという思想です。空海は、密教とともに、本覚思想を受け入れながら真言密教を確立しました。

■ 講義内容（全5回）

- 第1回 如来蔵と本覚—自己の本質—…………… 9月18日
- 第2回 本覚と始覚—迷いから悟りへ—…………… 9月25日
- 第3回 入唐以前の空海と仏教…………… 10月16日
- 第4回 密教経典と本覚…………… 10月23日
- 第5回 空海の思想と本覚…………… 11月13日

■ 受講生のみなさまへ

空海の思想、真言密教、本覚思想に興味のある方、お待ちしております。

■ 教材

資料は適宜配布します。



■ 講座

民俗学の世界

■ 講師

塩入 亮 乗

[大正大学講師・浅草寺法善院住職]



■ 概要

曜 日＝月曜日 時 間＝3 限（13：10～14：40）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

前回「民俗信仰あれこれ」に引き続き、今回は前半を民間行事・年中行事を中心に講義します。後半では庶民信仰の姿をさまざまな角度から講義していきます。民俗学を基盤とした内容になるので、各地の事例などを紹介した楽しい講義にしたいと思います。

■ 講義内容（全 5 回）

- 第 1 回 年中行事の民俗（1）…………… 9 月 10 日
- 第 2 回 年中行事の民俗（2）…………… 10 月 15 日
- 第 3 回 仏教と民俗…………… 11 月 12 日
- 第 4 回 民間信仰…………… 12 月 10 日
- 第 5 回 結び…………… 1 月 21 日

■ 教材

資料は適宜配布します。



■ 講座

臨床仏教入門③

■ 講師

吉水 岳彦

[大正大学非常勤講師・臨床仏教研究所研究員]



■ 概要

曜 日＝火曜日 時 間＝4 限（14：50～16：20）

定員数＝30 名 受講料＝10,000 円

■ 講座紹介

東日本大震災という大量死を日本社会が経験したことで、死を前にした答えのない苦しみに対する、宗教的ケアのニーズは一気に増大しました。それに呼応するように、現在、さまざまな宗教者養成プログラムが登場しており、「臨床仏教師」もその一つです。

本講座では、あらゆる苦の臨床で“いのちのケア”を行う、日本的エンゲイジド・ブディズムともいえる「臨床仏教」について、活動事例をまじえて一緒に学んでいきたいと思います。

■ 講義内容（全 5 回）

- 第 1 回 「臨床仏教」とは？……………5 月 22 日
- 第 2 回 敬聴と対話……………6 月 5 日
- 第 3 回 敬聴ワークショップ①……………6 月 19 日
- 第 4 回 敬聴ワークショップ②……………7 月 3 日
- 第 5 回 グループワーク 現代における仏教者の生き方を考える…… 7 月 24 日

■ 受講生のみなさまへ

はじめまして、吉水岳彦と申します。

本講座では、みなさまと一緒に、現実社会において仏教の慈悲と智慧をいかに実践すべきかを考えてまいります。入門編ですので、僧侶も僧侶でない方もお気軽にご参加ください。

■ 教材

資料は適宜配布します。



■ 講座

仏さまを描く ～写仏から色彩まで～

■ 講師

腰塚 勝也

[遍照院 住職]



■ 概要

曜 日＝水曜日 時 間＝3・4 限（13：10～16：20）

定員数＝30 名 受講料＝24,000 円

■ 講座紹介

初めて仏画に挑戦してみようという方には、美濃紙に墨線でお手本をなぞる「写仏」からご案内します。また、2年目以降の方はそれぞれ彩色の仏画に取り組んでいただきます。

■ 講義内容（全8回）

- 第1回 仏画概説・工程の説明…………… 6月 6日
- 第2回 墨線で描く…………… 7月11日
- 第3回 彩色（お身体を中心に）…………… 8月 1日
- 第4回 彩色（着衣を中心に）…………… 9月12日
- 第5回 彩色（着衣を中心に）……………10月 3日
- 第6回 彩色（文様を中心に）……………11月 7日
- 第7回 彩色（光の表現・飾りの仕上げ）……12月 5日
- 第8回 完成（鑑賞）…………… 2月 6日

■ 教材

初回にお手本等の教材の説明をいたします。



■ 講座

あなたにも楽しめる仏像彫刻① ～自分のほとけさまに会える～



■ 講師

榎本 宣道

[仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 理事長]

■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝6・7 限（17：45～20：15）

定員数＝12 名 受講料＝24,000 円

■ 講座紹介

この講座では、仏面、大黒天、地藏菩薩、合掌観音、救世観音、不動明王、釈迦如来、大日如来と様々な、自分の好きな仏像を彫って頂いています。経験年数、技量を超えた作品チャレンジをされている方もおられます。彫る仏様は、多くのサンプルと作品集の中から選ぶことができますので、相談しながら決定していきます。自分の仏様と接しながら楽しく集中した時間をお過ごしください。お手伝いします。

■ 講義内容（全 8 回）

- 第 1 回 顔の輪郭を彫る……………5 月 11 日
- 第 2 回 正・側面及び頭部を丸める……………5 月 25 日
- 第 3 回 目の下、鼻の横を掘り下げる……………6 月 8 日
- 第 4 回 鼻の一番低い所を取り、額を彫る……………6 月 22 日
- 第 5 回 眉・目を彫る……………7 月 13 日
- 第 6 回 口を彫る……………7 月 27 日
- 第 7 回 耳を彫る……………9 月 14 日
- 第 8 回 全体のバランスを整え、地藏仏面の完成……………9 月 28 日



■ 教材

材料は 1,000～4,000 円程度、彫刻刀の貸出し（1 回 300 円）も可能です（要 事前申込）。
筆記用具・ものさしをお持ちください。

■ 講座

あなたにも楽しめる仏像彫刻② ～自分のほとけさまに会える～



■ 講師

榎本 宣道

〔仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 理事長〕

■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝6・7 限（17：45～20：15）

定員数＝12 名 受講料＝24,000 円

■ 講座紹介

この講座では、仏面、大黒天、地藏菩薩、合掌観音、救世観音、不動明王、釈迦如来、大日如来と様々な、自分の好きな仏像を彫って頂いています。経験年数、技量を超えた作品チャレンジをされている方もおられます。彫る仏様は、多くのサンプルと作品集の中から選ぶことができますので、相談しながら決定していきます。自分の仏様と接しながら楽しく集中した時間をお過ごしください。お手伝いします。

■ 講義内容（全 8 回）

- | | | |
|-------|-------------------------|-----------|
| 第 1 回 | 材料の側面にノコギリを入れる…………… | 10 月 12 日 |
| 第 2 回 | 胸・腹部の厚みを彫り出す…………… | 10 月 26 日 |
| 第 3 回 | 腕の形から袖を彫り出す…………… | 11 月 9 日 |
| 第 4 回 | 裏面・袖の後方を取り整える…………… | 12 月 14 日 |
| 第 5 回 | 正面の足・袖を詳細に彫る…………… | 1 月 11 日 |
| 第 6 回 | 手・顔を彫る…………… | 1 月 25 日 |
| 第 7 回 | 胸・腹を彫る…………… | 2 月 8 日 |
| 第 8 回 | 全体のバランスを整え、地藏菩薩の完成…………… | 2 月 22 日 |



■ 教材

材料は 1,000～4,000 円程度、彫刻刀の貸出し（1 回 300 円）も可能です（要 事前申込）。
筆記用具・ものさしをお持ちください。

■ 講座

はじめての仏像彫刻入門① ～掌に乗るお地蔵さまを彫ってみよう～ 【5～7月】



■ 講師

浅葉 哲休

〔仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 会員〕

■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝6・7 限（17：45～20：15）

定員数＝10 名 受講料＝15,000 円

■ 講座紹介

「仏像を見るとホッとする。シアワセな気持ちになれる。自分でも彫ってみたいけど、むずかしそう」そんなふうに思っている方のための入門講座です。まずはヒノキのすがすがしい香りに包まれて、シンプルで愛らしいお地蔵さまをご自身の手で彫り出してみませんか。急がず、やさしく、心はまるく……。安全な彫刻刀の使い方と基本知識・技術を身につけながら、やすらぎのひとつときをたのしむ5回コース。

■ 講義内容（全5回）

第1回 彫刻刀の安全な使い方をまず身につける……………5月10日

第2回 設計図をよく見て、鉛筆で材料に線を描く……………5月24日

第3回 彫り進め、徐々にお地蔵さまの姿が現れます……………6月7日

第4回 お顔は“命”。顔づくりの手順を覚えよう……………6月28日

第5回 仕上げは丁寧に。全体ももう一度見直して……………7月12日

■ 教材

彫刻刀（当初2～3本使用）：初回授業で説明しますので知識・経験は不要です。希望者には教室での購入（1本3,000～3,500円）や貸出し（低ぎ代として1日300円）も可能です。その場合は「利き腕」を明示のうえ事前に申込みしてください。彫刻刀をすでにお持ちの方は持参してください。ほかに15cm程度の定規（これも初回に説明します）、鉛筆（芯の細いHB程度）、消しゴム、筆記具など。

※教材費別途。初回教材費は1,000円

（稚児地蔵菩薩・木曾檜、設計図付き）



■ 講座

はじめての仏像彫刻入門② ～掌に乗るお地蔵さまを彫ってみよう～ 【9～11月】



■ 講師

浅葉 哲休

〔仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 会員〕

■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝6・7 限（17：45～20：15）

定員数＝10 名 受講料＝15,000 円

■ 講座紹介

まったくの未経験者でも、彫刻刀の安全な使い方、木材の見方や扱い方を覚えながら、無理なくやさしく基本を学ぶ入門講座。初めての方は、まずは掌に乗る小さなヒノキのお地蔵さまを彫りあげます。また、「はじめての仏像彫刻入門①」などを修了してさらにもう一步、仏像づくりの楽しみを味わいたい方のためのテーマ・教材も各種用意しています。2 作目からは一人ひとり進捗具合や希望に応じて講師と相談しながら進めていくことができます。

■ 講義内容（全 5 回）※ 2 作目からの一例：稚児観音の場合

第 1 回 運刀の基本を再確認しながら円柱づくり…………… 9 月 27 日

第 2 回 観音の輪郭を彫り出す。顔も少しずつ…………… 10 月 11 日

第 3 回 基本は地蔵と同じ。でも髪がやや複雑に…………… 10 月 25 日

第 4 回 細部まで丁寧に仕上げ。全体を再調整…………… 11 月 8 日

第 5 回 本体ができたなら簡単な台座作りに挑戦！…………… 11 月 29 日

■ 教材

彫刻刀（当初 2～3 本使用）：初回授業で説明しますので知識・経験は不要です。希望者には教室での購入（1 本 3,000～3,500 円）や貸出し（砥ぎ代として 1 日 300 円）も可能です。その場合は「利き腕」を明示のうえ事前に申込みしてください。彫刻刀をすでにお持ちの方は持参してください。ほかに 15cm 程度の定規（これも初回に説明します）、鉛筆（芯の細い HB 程度）、消しゴム、筆記具など。

※教材費別途。初回教材費は 1,000 円

（稚児地蔵菩薩・木曾檜、設計図付き）



■ 講座

はじめての仏像彫刻入門③ ～掌に乗るお地蔵さまを彫ってみよう～ 【12～2月】



■ 講師

浅葉 哲休

[仏師・NPO 法人仏像彫刻美術院 会員]

■ 概要

曜 日＝木曜日 時 間＝6・7限（17：45～20：15）

定員数＝10名 受講料＝15,000円

■ 講座紹介

彫刻刀の安全な使い方、木材の見方や扱い方を覚えながら、無理なくやさしく基本を学べる入門講座。初めての方は、まずは掌に乗るかわいらしいヒノキのお地蔵さまを彫りあげます。また「はじめての仏像彫刻入門①②」を修了してさらにもう一步、仏像づくりの楽しみを味わいたい方のためのテーマ・教材も各種用意。全身像のほか、仏頭、浮彫りなど、一人ひとりの進捗と希望に応じて講師と相談しながら進めます。

■ 講義内容（全5回）※2作目以降の一例：白衣観音の場合

第1回 材料の角材に鉛筆で必要な線を入れて彫る……………12月 6日

第2回 外側の大まかな輪郭から形を造っていく……………12月20日

第3回 顔幅、鼻の頭など基準箇所を確実に定めて…………… 1月24日

第4回 目や唇、白衣の襷など細部の表現へ…………… 2月 7日

第5回 さあ本体ができたら、台座・光背も！…………… 2月21日

■ 教材

彫刻刀（当初2～3本使用）：初回授業で説明しますので知識や経験は不要です。希望者には教室での販売（1本3,000～3,500円）や貸出し（砥ぎ代として1日300円）も可能です。その場合は「利き腕」を明示のうえ事前申込みしてください。彫刻刀をすでにお持ちの方は持参してください。ほかに15cm程度の定規（これも初回に説明します）、鉛筆、消しゴム、筆記具など。

※教材費別途。初回教材費は1,000円

（稚児地蔵菩薩・木曾檜、設計図付き）



■ 講座

仏教を体験しよう ～法話と写経の会Ⅲ～

■ 講師

間正晃也

[地域構想研究所事務部すがもプロジェクトBSR推進室担当 事務主幹]



■ 概要

曜 日＝金曜日 時 間＝3 限（13：10～14：40）

定員数＝30 名 受講料＝2,000 円

■ 講座紹介

仏さまの教えが書かれている「お経」。その経文の一字一文字に「仏さま」を感じ、書き写すのが「写経」です。仏さまの教えについて易しい言葉でお話しする「法話」と組み合わせた講座です。茶話会も実施して受講者間の交流もはかります。気軽にお申込みください。

■ 講義内容（全 10 回）

第 1 回	お坊さんカフェ ^{そわか} 僧話花（茶話会）	5 月 25 日
第 2 回	法話と写経①	6 月 29 日
第 3 回	法話と写経②	7 月 27 日
第 4 回	法話と写経③	9 月 28 日
第 5 回	法話と写経④	10 月 19 日
第 6 回	法話と写経⑤	11 月 30 日
第 7 回	法話と写経⑥	12 月 21 日
第 8 回	法話と写経⑦	1 月 25 日
第 9 回	法話と写経⑧	2 月 22 日
第 10 回	お坊さんカフェ ^{そわか} 僧話花（茶話会）	3 月 22 日

■ 教材

こちらで筆ペンを用意しますが、サインペン等
ご自分で書きやすい筆記用具をお持ち頂いても
結構です。

※初回・最終回は別途お茶代各100円を頂戴します。



MEMO

2018

TAISHO UNIVERSITY

Calligraphy College

大正大学

書道カレッジ

基礎からの書道／実用書道／篆書・隸書
仮名書／写経／篆刻



毎日新聞社 後援

ごあいさつ

文字を美しく書くことは、私達の心を豊かにして、その人らしい個性的な文字を生み出しています。「これが書の道でこの手習いの道こそは、他のどんなことより後世に伝えたい。」とは、平安時代、藤原伊行が娘右京大夫が宮中に出仕するにあたって述べた言葉です。文字を書くことの大切さがいかに貴ばれていたかよくわかります。しかし、現代はパソコンなどの機器の普及により、書き写すことにも変化が生まれ、自らの手で書くことが減り、手書き文字の良さを忘れがちです。だからこそ、一人一人の個性、表情豊かな趣のある書を創造していかなければなりません。書道は人と人とのつながり、人としての生き方を豊かにしてくれる心の芸術です。心静かに筆を持って、まずは一緒に書いてみませんか。書道カレッジでは、初心者から専門に学ぼうとする人まで広く対応できるように、内容の充実と各講座の独自性を出して、親切・丁寧な指導をしています。心のゆとりを求めて、書くことの楽しさを受講生の皆さんと一緒に学んでいきます。

書道カレッジ校長 赤 平 泰 処
(大正大学名誉教授・毎日書道会総務)

大正大学書道カレッジのご講座案内

大正大学書道カレッジでは、中国や日本の数々の名蹟など芸術性の高い書から、生活の中の実用的な書も気軽に学べます。ここでは受講生のレベル・学習目的に応じて指導しますので、筆を持ったことがない方でも安心して受講できます。また、昼・夜の各講座、各自のライフスタイルに合わせ学ぶことができます。流派にとらわれない当書道カレッジでは、誰でも受講することができます。豊かな歴史、そして無限の楽しみをもった書の世界を、あなたも体験してみませんか。

A. 基礎コース

SA1	書道入門講座 ～基本から創作まで～	赤平泰処 今井泰処 鈴木蓮徑	23
SA2	基礎からの書道 ～白居易の詩を書く～	荒木大樹	25
SA3	書に親しむ ～楷書・行書・草書編～	山中翠谷	26
SA4	実用書道	中村大如	27

B. 専攻コース

SB1	篆書・隸書を学ぶ ～初歩から創作まで～	赤平泰処	28
SB2	楽しい仮名書	大石三世子	29
SB3	篆刻を楽しむ	池田光希	30
SB4	篆刻実践講座 ～基礎から創作まで～	池田光希	31

C. スペシャルコース

SC1	書道に親しむ ～書の美を見つめて～	赤平泰処	32
SC2	般若心経を書く ～仏教書道に親しむ～	奥山元照	33
SC3	秋の書道特別講習会	石飛博光 大石三世子	34

大正大学書道カレッジ講座申込のご案内	36
個人情報の取扱いについて	37
講座申込ハガキ	巻末

2018年度書道講座 時間割

時間割	2限	3限	4限	6限
	10:50 - 12:20	13:10 - 14:40	14:50 - 16:20	18:20 - 19:50
月				SA1 書道入門講座 赤平 泰処 今井 泰処 鈴木 蓮徑
火		SC2 般若心経を書く 奥山 元照		SA3 書に親しむ 山中 翠谷
水	SB1 篆書・隸書を 学ぶ 赤平 泰処			SA4 実用書道 中村 大如
木	SA2 基礎からの書道 荒木 大樹	SB3 篆刻を楽しむ(A) 池田 光希	SB3 篆刻を楽しむ(B) 池田 光希	SB2 楽しい仮名書 大石 三世子 SB4 篆刻実践講座 池田 光希
金	SC1 書道に親しむ 赤平 泰処			
9月16日(日)のみ開講 SC3 秋の書道特別講習会 (大石三世子・石飛博光) 10:30 - 14:30				

■当書道カレッジでは

- 使い慣れた書道用具をお持ちください。
半紙などの書道用具は、5号館1階の学内売店(T-map)で購入することができます。
- 途中参加も可能です。
詳細は5号館1階の大学事業法人 株式会社ティー・マップまでお問い合わせください。



監修・講師Ⅰ
赤平 泰処

〔大正大学名誉教授・毎日書道会総務〕



講師Ⅱ（前期担当）
今井 泰篁

〔毎日書道展会員〕

概要

曜 日＝月曜日

時 間＝6限（18：20～19：50）

定員数＝30名

回 数＝24回

受講料＝通年 48,000 円（SA1）※分納可

※前期 24,000 円（SA1A）

講座紹介

当講座は『書の技法－楷書・行書編－』のテキストを使用しながら、楷書・行書を基礎からしっかりと学んでいきます。初心者から専門的に学ぼうとする人まで受講生の資質・能力に応じて個別指導をします。希望があれば、他の書体や創作作品の添削もいたします。継続受講者には、新たな課題も提供します。

前期の講座内容

5月	01. 楷書の基礎＜基本点画を学ぶ＞ 14日※	7月	07. 楷書五文字を書く② 2日
	02. 楷書二文字を書く① 21日		08. 楷書五文字を書く③ 30日
6月	03. 楷書二文字を書く② 4日	8月	09. 臨書・鍾繇の書を学ぶ① 20日
	04. 楷書四文字を書く① 11日		10. 臨書・鍾繇の書を学ぶ② 27日※
	05. 楷書四文字を書く② 18日	9月	11. 臨書・張猛龍碑を学ぶ① 3日
	06. 楷書五文字を書く① 25日		12. 臨書・張猛龍碑を学ぶ② 10日※

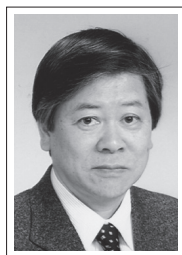
※講師Ⅰ＝赤平泰処先生担当（変更になる場合があります）

教材・その他

※テキスト：赤平泰処著『書の技法－楷書・行書編－』（900円・税込）を使用します。

お持ちでない方は、初回までに学内売店〔5号館1階〕にてお求めください。

※参考資料：赤平泰処著『古典の技法－楷書』、『古典の技法－行書・草書』もあります。



監修・講師Ⅰ

赤平泰処

〔大正大学名誉教授・毎日書道会総務〕



講師Ⅲ（後期担当）

鈴木蓮徑

〔毎日書道展審査会員〕

概要

曜 日＝月曜日

時 間＝6限（18：20～19：50）

定員数＝30名

回 数＝24回

受講料＝通年 48,000 円 (SA1) ※分納可

※後期 24,000 円 (SA1B)

講座紹介

当講座は『書の技法－楷書・行書編－』のテキストを使用しながら、楷書・行書を基礎からしっかりと学んでいきます。初心者から専門的に学ぼうとする人まで受講生の資質・能力に応じて個別指導をします。希望があれば、他の書体や創作作品の添削もいたします。継続受講者には、新たな課題も提供します。

後期の講座内容

10月	13. 行書の基礎＜基本筆法を学ぶ＞	1日	12月	19. 行書五文字を書く②	17日
	14. 行書二文字を書く①	15日	1月	20. 臨書・王羲之 蘭亭序を学ぶ①	28日※
	15. 行書二文字を書く②	22日	2月	21. 臨書・王羲之 蘭亭序を学ぶ②	4日※
11月	16. 行書四文字を書く①	5日	3月	22. 臨書・王羲之 蘭亭序を学ぶ③	25日
	17. 行書四文字を書く②	26日		23. 作品の制作・色紙に書く①	4日※
12月	18. 行書五文字を書く①	3日		24. 作品の制作・色紙に書く②	11日

※ 講師Ⅰ＝赤平泰処先生担当（変更になる場合があります）

教材・その他

※テキスト：赤平泰処著『書の技法－楷書・行書編－』（900円・税込）を使用します。

お持ちでない方は、初回までに学内売店〔5号館1階〕にてお求めください。

※参考資料：赤平泰処著『古典の技法－楷書』、『古典の技法－行書・草書』もあります。

講師

荒木大樹

〔毎日書道展審査会員〕



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名

回 数＝24 回

受講料＝通年 48,000 円 (SA2) ※分納可

※前期 24,000 円 (SA2A)・後期 24,000 円 (SA2B)

講座紹介

紫式部や清少納言にも影響を与えた中国・唐代の代表詩人の一人「白居易」の詩を味わいながら、行書に書いてみましょう。

前期は五言の詩、後期は七言の詩にしてみました。そして白居易の生涯もたどりたいと思います。臨書は「米芾」の『蜀素帖』を学習します。また個人の興味ある書体にも対応致します。



前期の講座内容

後期の講座内容

5 月	01. 行書の基本	17 日	10 月	13. 「長恨歌」①	25 日
	02. 「香鑪峯下…」①	24 日		14. 「長恨歌」②	8 日
6 月	03. 「香鑪峯下…」②	14 日	11 月	15. 「長恨歌」③	15 日
	04. 「香鑪峯下…」③	21 日		16. 「長恨歌」④	29 日
	05. 「春日閑居」①	28 日	12 月	17. 「長恨歌」⑤	6 日
7 月	06. 「春日閑居」②	5 日		18. 「晩秋閑居」	13 日
8 月	07. 「春日閑居」③	2 日	1 月	19. 「村夜」	10 日
	08. 「春日閑居」④	23 日		20. 「暮立」	17 日
9 月	09. 「春日閑居」⑤	6 日	2 月	21. 「舟中読元九」	7 日
	10. 「常楽里閑居」①	13 日		22. 「白鷺」	14 日
	11. 「常楽里閑居」②	27 日		23. 「重題」①	21 日
10 月	12. 「常楽里閑居」③	11 日	3 月	24. 「重題」②	7 日

講師

山中翠谷

〔毎日書道会総務・(公財)独立書人団常務理事〕



概要

曜 日＝火曜日

時 間＝6限(18:20～19:50)

定員数＝30名

回 数＝24回

受講料＝通年 48,000 円 (SA3) ※分納可

※前期 24,000 円 (SA3A)・後期 24,000 円 (SA3B)

講座紹介

用筆法に特徴のある代表的な楷書・行書・草書の基本を学んでいきます。初歩から中級程度まで楽しく学べるよう、中国・日本の名蹟をやさしく解説しながら、授業をすすめていきます。いろいろな古典を学んだ中から、自分の好きなものを選び、最後には色紙に書いてみましょう。受講者の希望に応じ、別な課題も提案いたします。



道

前期の講座内容

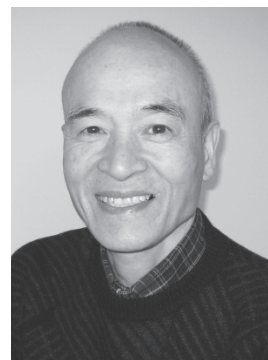
後期の講座内容

5月	01. 楷書に親しむ<智永・真草千字文①>	15日	10月	13. 行書に親しむ<王羲之・蘭亭序①>	23日
	02. 楷書に親しむ<智永・真草千字文②>	29日		14. 行書に親しむ<王羲之・蘭亭序②>	13日
6月	03. 楷書に親しむ<智永・真草千字文③>	12日	11月	15. 行書に親しむ<王羲之・蘭亭序③>	20日
	04. 楷書に親しむ<褚遂良・雁塔聖教序①>	26日		16. 行書に親しむ<王羲之・蘭亭序④>	27日
7月	05. 楷書に親しむ<褚遂良・雁塔聖教序②>	10日	12月	17. 行書に親しむ<空海・風信帖①>	4日
	06. 楷書に親しむ<褚遂良・雁塔聖教序③>	24日		18. 行書に親しむ<空海・風信帖②>	18日
	07. 楷書に親しむ<顔真卿・顔勤禮碑①>	31日	1月	19. 行書に親しむ<空海・風信帖③>	15日
8月	08. 楷書に親しむ<顔真卿・顔勤禮碑②>	7日		20. 行行書に親しむ<空海・風信帖④>	22日
	09. 楷書に親しむ<顔真卿・顔勤禮碑③>	28日	2月	21. 草書に親しむ<孫過庭・書譜①>	5日
9月	10. 楷書に親しむ<魏靈藏造像記①>	4日		22. 草書に親しむ<孫過庭・書譜②>	12日
	11. 楷書に親しむ<魏靈藏造像記②>	25日	3月	23. 草書に親しむ<孫過庭・書譜③>	5日
10月	12. 楷書に親しむ<魏靈藏造像記③>	9日		24. 草書に親しむ<孫過庭・書譜④>	12日

講師

中村大如（英信）

〔昭和45年3月大正大学卒
東方書道同人・貞香会同人・個展5回〕



概要

曜 日＝水曜日

時 間＝6限（18：20～19：50）

定員数＝30名

回 数＝12回

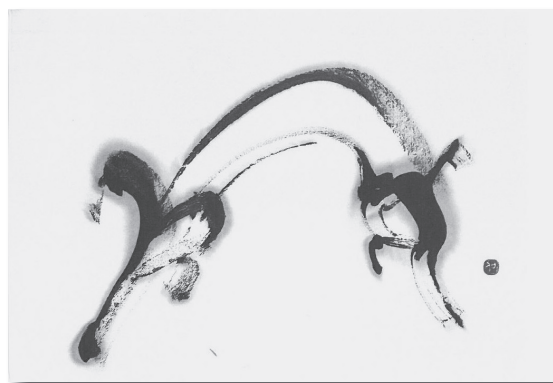
受講料＝24,000円

講座紹介

この講座では、冠婚葬祭ののし書き、儀式での署名など、日常必要とされている「進物の表書き」を中心に実用の書を学んでいきます。用筆は小筆または筆ペンとし、楷書と行書の二書体で習います。また、希望者は大筆でも学べます。

各回の講座内容

5月	01. 自分の名前・家族の名前を書く	23日
6月	02. 慶事に係る項目を書く①	13日
	03. 慶事に係る項目を書く②	27日
7月	04. 仏事に係る項目を書く①	25日
9月	05. 仏事に係る項目を書く②	12日
10月	06. 季節の行事に係る項目を書く①	17日
11月	07. 季節の行事に係る項目を書く②	14日
	08. その他の項目を書く①	28日
12月	09. その他の項目を書く②	12日
1月	10. 実物の「のし袋」を書く①	23日
2月	11. 実物の「のし袋」を書く②	6日
	12. 実物の「のし袋」を書く③	20日



虹

教材・その他

テキストは初回にお配りします。上記以外に半紙・葉書等にかきたい方は、お申し出ください。

講師

赤平泰処

[大正大学名誉教授・毎日書道会総務]



概要

曜 日＝水曜日

時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名

回 数＝12 回

受講料＝24,000 円

講座紹介

篆書・隸書を学んで、文字造形、書風の特徴、線質など、独自の表現方法を学びます。
字源を理解することも大切な要素です。
書の知的部分を説いていきます。
篆書・隸書が初めての方にも個別に指導します。



愛

各回の講座内容

5 月	01. 篆書について（用筆・運筆の基本）	9 日	9 月	07. 金分を学ぶ	26 日
	02. 小篆を学ぶ（字形の基本）	23 日	10 月	08. 隸書について	10 日
6 月	03. 小篆を学ぶ（自分の氏名を書く）	13 日		09. 書風の変化	24 日
7 月	04. 泰山刻石を学ぶ	4 日	11 月	10. 古典の臨書（礼器碑）	21 日
9 月	05. 楊沂孫の書	12 日	12 月	11. 古典の臨書（張遷碑他）	12 日
	06. 石鼓文を学ぶ	19 日	1 月	12. 簡牘の書	9 日

教材・その他

※テキスト：赤平泰処著『書の技法－隸書・篆書編－』（1,100 円・税込）を使用します。
お持ちでない方は、初回までに学内売店〔5 号館 1 階〕にてお求めください。

講師

大石 三世子

〔日展会友・読売書法会理事〕



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝6 限（18：20～19：50）

定員数＝30 名

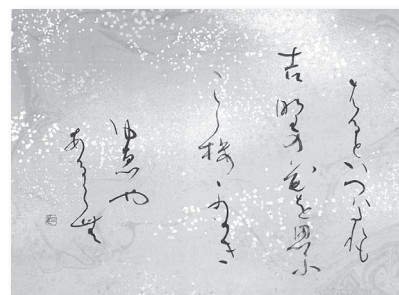
回 数＝24 回

受講料＝通年 48,000 円（SB2）※分納可

※前期 24,000 円（SB2A）・後期 24,000 円（SB2B）

講座紹介

基礎をしっかり身につけて、住所・名前から
優美な古典の臨書など手習いしていきます。
各自の感性を生かし、独自の作品を仕上げる
ように学んでいきます。受講生のレベルに応
じて個別指導していきます。希望の方は、大
きな創作作品も添削いたしますので、お申し
出ください。



春といへばだれも吉野の花を思ふ
ころろふかきゆえやあるらむ（山家集）

前期の講座内容

後期の講座内容

5 月	01. 小筆で住所・名前を書く①	17 日	10 月	13. 二字連綿＜連綿線の変化＞③	4 日
	02. 小筆で住所・名前を書く②	31 日		14. 二字連綿＜連綿線の変化＞④	18 日
6 月	03. 熨斗袋に書く①	14 日	11 月	15. 三字連綿 ①	8 日
	04. 熨斗袋に書く②	21 日		16. 三字連綿 ②	15 日
7 月	05. 変体仮名①	5 日	12 月	17. 三字連綿 ③	29 日
	06. 変体仮名②	19 日		18. 三字連綿 ④	6 日
	07. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞①	26 日		19. 俳句、和歌を色紙・短冊に書く①	20 日
8 月	08. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞②	2 日	1 月	20. 俳句、和歌を色紙・短冊に書く②	17 日
	09. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞③	9 日	2 月	21. 俳句、和歌を色紙・短冊に書く③	14 日
	10. いろは…＜基礎をしっかり学ぶ＞④	30 日		22. 俳句、和歌を色紙・短冊に書く④	21 日
9 月	11. 二字連綿＜連綿線の変化＞①	6 日	3 月	23. 作品 1 点仕上げる①	7 日
	12. 二字連綿＜連綿線の変化＞②	20 日		24. 作品 1 点仕上げる②	14 日

講師

池田光希

〔毎日書道展審査会員〕



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝A コマ 3 限（13：10～14：40）

B コマ 4 限（14：50～16：20）

定員数＝20 名

回 数＝12 回

受講料＝通年 60,000 円（SB3） ※分納可

※前期 30,000 円（SB3A）・後期 30,000 円（SB3B）

講座紹介

新しい発想で篆刻に向き合うということより、「先人はいかに篆刻を楽しみ、学んできたか」が、この講座のテーマです。今回は特に、昭和期に活躍した印人の作品を鑑賞しながら、実作に活かしてみましよう。また、受講生の感性も大切にしながら、篆刻を楽しんでいただきます。



仰之彌高
（原寸：38×38mm）

前期の講座内容

後期の講座内容

5 月	01	A. 篆刻とは？①（印の歴史） B. 篆刻とは？②（用具材等）	10 日	10 月	07	A. 先人の印の研究①（鑑賞） B. 人の印の研究②（分析）	18 日
	02	A. 篆書について①（篆書体の名称とその応用） B. 篆書について②（字書や用語の説明）	24 日	11 月	08	A. 自由課題（干支印・成語印等の制作）① B. 自由課題（干支印・成語印等の制作）②	15 日
6 月	03	A. 印の制作の流れ B. 印の制作の流れと準備	14 日	12 月	09	A. 自由課題（干支印・成語印等の制作）③ B. 自由課題（干支印・成語印等の制作）④	13 日
7 月	04	A. 印稿制作①（イメージを決める） B. 印稿制作②（検字）	5 日	1 月	10	A. 先人の名印を模写・模刻の実践① B. 先人の名印を模写・模刻の実践②	24 日
8 月	05	A. 自分の姓名号印の制作① B. 自分の姓名号印の制作②	30 日	2 月	11	A. 先人の名印を模写・模刻の実践③ B. 先人の名印を模写・模刻の実践④	7 日
9 月	06	A. 自分の姓名号印の制作③ B. 自分の姓名号印の制作④	13 日	3 月	12	A. 篆刻の周辺について①（側款・その他） B. 篆刻の周辺について②（総括・成果発表）	7 日

教材・その他

用意するもの：篆刻用具一式、印材など。初心者の方は、初回到道具の説明をいたします。

講師

池田光希

〔毎日書道展審査会員〕



概要

曜 日＝木曜日

時 間＝6限（18：20～19：50）

定員数＝20名

回 数＝10回

受講料＝通年 25,000 円 (SB4) ※分納可

※前期 12,500 円 (SB4A)・後期 12,500 円 (SB4B)

講座紹介

「篆刻の魅力とは？」そこをいろいろな角度で探ってみましょう。印の制作については、次の課題が合理的に作業できるよう指導します。また、受講生のレベルに応じて課題を提供していきます。名家の作品を鑑賞しながら実作に取り組み、篆刻の魅力を感じてください。



敬天愛人
(原寸：75×50mm)

前期の講座内容

5月	01. 篆刻とは？（印の歴史・道具や用語の説明など）	24日
6月	02. 制作の流れ（印材の下準備・検字・印稿等）	14日
7月	03. 実践（自由課題）①（印稿・印面への転写＜布字＞）	5日
8月	04. 実践（自由課題）②（布字の完成→刻る）	30日
9月	05. 実践（自由課題）③（刻った印の添削→完成）	13日

後期の講座内容

10月	06. 実践（自由課題）④（前期復習的に各自で印を制作）	18日
11月	07. 実践（年賀状印）①（年賀状に押印する印の制作）	15日
12月	08. 実践（年賀状印）②（年賀状に押印する印の制作）	13日
1月	09. 実践（自由課題）（前期復習的に各自で印を制作）	24日
2月	10. 側款・袴制作、まとめ	7日

教材・その他

用意するもの：篆刻用具一式、印材など。初心者の方は、初回到道具の説明をいたします。

講師

赤平泰処

[大正大学名誉教授・毎日書道会総務]



概要

曜 日＝金曜日

時 間＝2 限（10：50～12：20）

定員数＝30 名

回 数＝12 回

受講料＝24,000 円

講座紹介

古典の美を見つめながら臨書して、自分の書を作っていくポイントを学びます。書風の特徴、作者と作品の関連などを解説しながら、表現技法を理解して、楽しく学んでいきましょう。



無心は是れ道（円通大応国師語録）

各回の講座内容

5 月	01. 書的美を探る	18 日	9 月	07. 褚遂良・唐太宗を学ぶ	14 日
	02. 王羲之の書・行書①	1 日	10 月	08. 書譜を学ぶ	5 日
6 月	03. 王羲之の書・行書②	8 日		09. 顔真卿の書	19 日
	04. 王羲之の書・草書	22 日	11 月	10. 顔真卿の書・三稿	16 日
7 月	05. 書の鑑賞会（第70回記念 毎日書道展見学）✳	13 日	12 月	11. 宋三大家の書・蘇軾	7 日
9 月	06. 智永千字文を学ぶ	7 日	1 月	12. 宋三大家の書・黄庭堅・米芾	18 日

教材・その他

書道用具が必要です。最低限として筆は各自で用意してください。

※硯、文鎮、下敷きは教室でもお貸しします。

※墨液、半紙などの消耗品は、講座で用意しています。

※テキスト：赤平泰処著『古典の技法―行書・草書』（1,100 円・税込）を使用します。

お持ちでない方は、初回までに学内売店〔5 号館 1 階〕にてお求めください。

✳第 5 回目講座 7 月 13 日（金）は、六本木・国立新美術館に現地集合となります。

美術館の 1 階（1A 展示場入口前）に、午前 10：20 にご集合ください。

詳しくは、講座中にご案内します。

講師

奥山元照

〔西福寺住職・天台宗書道連盟理事〕



概要

曜 日＝火曜日

時 間＝3限（13：10～14：40）

定員数＝30名

回 数＝12回

受講料＝24,000円

講座紹介

仏さまのことばに耳を傾け、美しい名品にもふれて、心豊かに写経をしていきましょう。多くの方に親しまれている「般若心経」を中心に写経していきます。継続受講生には、希望に応じたお経を学べるよう進めていきます。

各回の講座内容

5月	01. 写経とは何か（歴史と作法を解説）	29日
6月	02. 写経の基礎①	26日
7月	03. 写経の基礎②	17日
9月	04. 写経と解説①	4日
10月	05. 写経と解説②	2日
	06. 写経と解説③	23日
11月	07. 写経と解説④	6日
	08. 写経と解説⑤	20日
12月	09. 装飾経を書いてみよう①	4日
1月	10. 装飾経を書いてみよう②	22日
2月	11. 装飾経を書いてみよう③	19日
3月	12. 装飾経を書いてみよう④	19日



奢摩他毘鉢舍那

教材・その他

書道用具一式と小筆をお持ちください。

<午前の部>

仮名の美

～俳句・短歌を書く～



講師

大石三世子

〔日展会友・読売書法会理事〕

<午後の部>

漢字仮名交じりの書

～富士山を書く～



講師

石飛博光

〔大正大学客員教授・毎日書道会理事〕

概要

日 程＝9月16日（日）

時 間＝午前の部 10：30～12：00 ／ 午後の部 13：00～14：30

受講料＝4,000円（2講座セット）

講座紹介

多くの書体にふれ、学ぶことができる集中講座として、1日特別講習会を開講します。本年度は「仮名」と「漢字仮名交じりの書」をテーマに、今、最も注目されている代表作家に、作品制作の要領や独自の表現方法を実技指導していただきます。

当講習会は、まず書体を基本から学び、最後には創作作品を書いていきます。また講師による席上揮毫も実施いたします。いろいろな書体に触れ、自分自身の「新しい創作の目」を発見していきましょう。専門的に学ぶ人から、初心者の方までどなたでも受講できます。書に親しみ、芸術の秋を満喫してみませんか。

■用意するもの

午 前 の 部	<p>◎午前の部持ち物 半紙（仮名用）、半切 1/3 サイズ（仮名用）、小筆（仮名用）、あれば中筆（漢字用でも可）</p> <p>◎参考テキスト 『かなの美を学ぶ 散らし書き』（大石三世子著・日貿出版社） 定価：2,600円〈税別〉</p>	<p>◎共通の持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書道用具一式 ●下敷 ●カッター ●新聞紙（机・床用） ●雑巾等
午 後 の 部	<p>◎午後の部持ち物 半紙（漢字用）、半切 1/3 サイズ（漢字用）、大筆（3～5号）</p> <p>◎参考テキスト 『色紙 漢字かな交じり書—富士山を書く』（石飛博光著・二玄社） 定価：3,200円〈税別〉</p> <p>◎副教材 『石飛博光の書道』（石飛博光著・天来書院）定価：2,800円〈税別〉 『書道の基本』（石飛博光著・NHK出版）定価：2,400円〈税別〉</p>	

※午前・午後の部とも、参考テキスト・副教材をお持ちの方はご持参ください。必ずしも購入する必要はありませんが、希望の方には当日会場にて販売いたします。ただし事前に受講申込書（巻末）に購入希望のテキスト名を記入し、お申込みください。（テキスト申込みは9月末まで）当日、代金引き換えでテキストをお渡しします。※申込み期限を過ぎますと、お渡しできない場合があります。

※当日、書道用品（筆・下敷・半切等）を会場でも販売いたします。

第70回記念 毎日書道展

書道カレッジでは、日ごろの実技指導に加え、より多くの芸術作品にふれ鑑賞眼を養えるよう、課外授業として書の鑑賞会を開講しています。伝統の書から現代書までの総合書展として、昭和23年より開催された毎日書道展は、今年で第69回をむかえます。当書道カレッジ講師による作品解説を聴きながら、漢字・仮名・近代詩文書・大字書・篆刻など、さまざまな分野の作品を鑑賞していきましょう。

創作作品を直感的にみるか、分析的にみるかは、各自の自由です。ぜひ、ご知友とお気軽にご参加ください。

第70回記念 毎日書道展＜東京展：国立新美術館＞開催予定

期 間 2018年7月11日(水)～8月5日(日)

※毎週火曜休館日・水曜日は13時会場

会 場 六本木 国立新美術館 展示会場

※要観覧料

同 展 ＜東京展：東京都美術館＞は、7月19日(木)～7月25日(水)開催

※最終日は14時30分閉幕

※書道カレッジ「書道に親しむ」(赤平先生)の講座にて、国立新美術館に行く予定です。



大正大学オープンカレッジ講座申込方法のご案内

1. 名 称：大正大学オープンカレッジ

2. 会員登録：大正大学オープンカレッジの各講座を受講する際は、会員登録していただくことを原則とします。（一部の講座を除く）

3. 受講資格：会員の方であればどなたでも受講可能です。

4. 事務手数料（オープンカレッジ／書道カレッジ共通）

①新規・継続会員：500 円

※有効期限は 1 年間（平成 30 年度）

②本学関係者（本学学生・在学生保護者・卒業生・教職員）：無料

5. 講座の申込み

(1) 申込書（巻末ハガキ）、官製ハガキ、FAX、大正大学ホームページ（4 月より受付開始予定）よりお申込みいただけます。

※お電話での申込は受付けておりません。

※定員を超えた場合は、入金先着順となります。

① 氏名（ふりがな） ② 性別 ③ 住所 ④ 電話番号 ⑤ 年代 ⑥ 希望講座番号

⑦ 講座名を記入してお申込みください。

(2) 受付終了後、「払込用紙」を送付します。

事務手数料と受講料は開講日の 7 日前までに振込をお願いします。入金の確認後、「受講証」を発送いたします。

※原則はお振込となりますが、直接、当局窓口で受講料のお支払いをご希望の方は下記の入金期間内に「払込用紙の送付」用紙をお持ちの上、大正大学事業法人 株式会社ティー・マップ（5 号館 1 階）までお越しください。

窓口での入金期間：開講日の 7 日前までの平日 10:00 ～ 17:00

(3) 受講証を当日会場にお持ちください。

6. 事務手数料・受講料の返金について

入金された事務手数料・受講料は原則としてご返金できません。

※ただし、当オープンカレッジの都合で講義を中止した場合は別とします。その場合でも事務手数料は返金できませんので、ご了承ください。

7. 受講キャンセルについて

キャンセルは、開講日の 14 日前までに、ご連絡ください。

なお、受講料の振込がないことをもって受講キャンセルとはみなしません。

必ず電話、FAX、Eメール等でご連絡ください。ご連絡をいただけない場合、後日受講料等を請求させていただきます。

大正大学オープンカレッジ講座申込方法のご案内

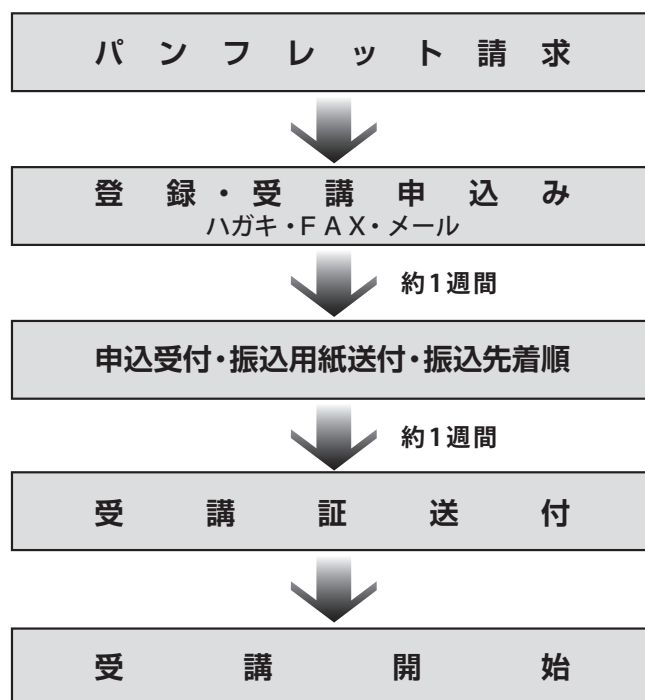
8. 受講者へのご連絡

会場は当日正門前に掲示いたします。本学（講師）の都合による変更等については事前にご登録の連絡先へお知らせいたします。

9. 受講上の注意

- ①大学の行事および他講座の都合上、予定している講義日時・教室が変更になる場合があります。その場合は事前に連絡いたします。
- ②講師の都合により、予定の講義日程が変更になることや、代講者による講義となる場合があります。
- ③講師の病気および交通機関の事情により、休講となった場合補講を開講いたします。
- ④開講日の14日前までに受講希望者が最小催行人数に達しない場合は開講を中止させていただきます。
- ⑤講義の録音・写真撮影は堅くお断りします。
- ⑥教室内で飲食・喫煙はご遠慮ください。
- ⑦教室内での講座目的以外の物品販売・勧誘・金品の授与はご遠慮ください。
- ⑧車での登校はご遠慮ください。
- ⑨お子さま連れの受講はできません。
- ⑩貴重品は必ず手元におき、各自で管理してください。また受講中の盗難および登下校における事故等については責任を負いかねます。
- ⑪上記⑤～⑨および講師や他の受講者に迷惑をかけることがあった場合は、受講をお断りする場合があります。

■申込みから受講までの手続き



テキスト、教材、プリント等は講座当日に教室でお渡しします。

個人情報の取扱いについて

■個人情報の収集について（利用目的）

当大学は以下の目的のために個人情報を利用させていただきます。

- ① お申込の確認
- ② 各種ご案内（大学行事・特別公開講座・次年度のパンフレットなど）の送付
- ③ 受講証・会員証・修了証の送付
- ④ その他、講座運営に関わるご連絡（日程・教室の変更など）

■個人情報の外部委託

当大学は、下記に該当する場合を除いて、受講者の事前の同意なく、お預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

- 前述の利用目的を遂行するため、個人情報の取扱いを外部に委託する場合

- 法令に基づく場合

なお、外部への委託に関しては、個人情報の管理水準が弊社の設定する安全対策基準を満たす企業を選定し、これについて適切な管理・監督を行います。

■個人情報の安全対策・管理について

個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、正確性の確保をはかります。

万が一、問題が発生した場合も必要かつ適正な安全管理措置および更正措置を講じます。

■個人情報についてのお問い合わせ先

当オープンカレッジにおける個人情報に関するお問い合わせなどは、下記の連絡先までお願いいたします。

※なお、個人情報保護方針については、ホームページをご覧ください。

<http://www.t-map.net/doc/privacy.htm>

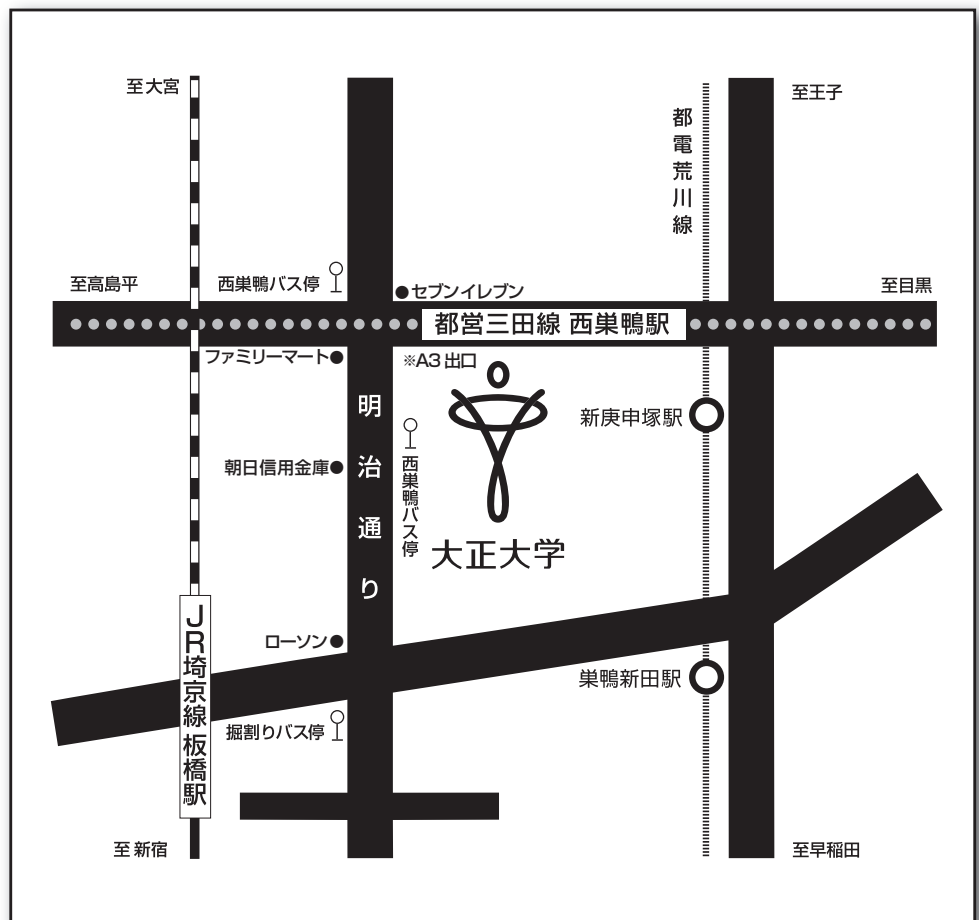
個人情報取扱い・問い合わせ窓口

大正大学事業法人 株式会社ティー・マップ
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1
電話：03-5907-3971 FAX：03-5907-3977
メール：privacy@t-map.net（個人情報問合せ窓口担当）

MEMO

MEMO

■アクセスマップ



★巣鴨キャンパス

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1
TEL. 03-5907-3971 FAX. 03-5907-3975
メール: oc@t-map.net

●都営三田線「西巣鴨駅」徒歩2分 ●都電荒川線「新庚申塚駅」徒歩7分

●JR埼京線「板橋駅」徒歩10分

フリーダイヤル: 0120-721-310 (受付時間 = 10:00~17:00)

大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メー ル ア ド レ ス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名			受 講 料
①					円
②					円
③					円
④					円
⑤					円
合 計（事務手数料+受講料）					円

上記のとおり、申し込みます。

受付番号：

➤キリトリ線

大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メー ル ア ド レ ス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名			受 講 料
①					円
②					円
③					円
④					円
⑤					円
合 計（事務手数料+受講料）					円

上記のとおり、申し込みます。

受付番号：

キリトリ線

大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メー ル ア ド レ ス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名			受 講 料
①					円
②					円
③					円
④					円
⑤					円
合 計（事務手数料+受講料）					円

上記のとおり、申し込みます。

受付番号：

➤キリトリ線

大正大学 オープン・書道カレッジ 受講申込書

※印がついている欄は必ずご記入ください。 お申込日：西暦 年 月 日

ふりがな ※					性 別 ※
氏 名 ※					男 ・ 女
住 所 ※	〒				
電 話 番 号 ※					
携 帯 電 話					
F A X					
メー ル ア ド レ ス					
年 代 ※	20代	30代	40代	50代	
	60代	70代	80代	その他	
オープンカレッジ事務手数料 いすれかに○をしてください					
	一般登録者				500円
	本学関係者（本学学生・在学生父兄・卒業生・教職員）				0円
受 講 希 望 講 座					
	講座番号	講 座 名			受 講 料
①					円
②					円
③					円
④					円
⑤					円
合 計（事務手数料+受講料）					円

上記のとおり、申し込みます。

受付番号：

キリトリ線

郵便はがき

1708780

013

料金受取人払郵便

豊島局承認

3006

差出有効期間
平成31年4月
19日まで

大正大学
オープンカレッジ
係
(書道カレッジ)

東京都豊島区西巣鴨3-20-1



郵便はがき

1708780

013

料金受取人払郵便

豊島局承認

3006

差出有効期間
平成31年4月
19日まで

大正大学
オープンカレッジ
係
(書道カレッジ)

東京都豊島区西巣鴨3-20-1



郵便はがき

1708780

013

料金受取人払郵便

豊島局承認

3006

差出有効期間
平成31年4月
19日まで

大正大学
オープンカレッジ
係
(書道カレッジ)

東京都豊島区西巣鴨3-20-1



郵便はがき

1708780

013

料金受取人払郵便

豊島局承認

3006

差出有効期間
平成31年4月
19日まで

大正大学
オープンカレッジ
係
(書道カレッジ)

東京都豊島区西巣鴨3-20-1

